

## 表示・起源分析技術研究懇談会第20回講演会

主催 （社）日本分析化学会 表示・起源分析技術研究懇談会

期日 平成31年1月25日（金）13時00分～17時50分

会場 東京電機大学東京千住キャンパス，  
1号館2階1204教室〔東京都足立区千住旭町5〕

アクセス 北千住駅東口（電大口）徒歩1分

### 【プログラム】

※内容等変更になる場合があります。

研究懇談会 HP（<http://www.jsac.or.jp/~kigen/>）をご確認下さい。

13：00～13：10 開会のあいさつ：安井委員長

13：10～14：10 講演1

「同位体比分析を中心とする天然型ドーピング物質の由来織別とその技術」  
植木 眞琴（カタルアンチドーピング検査所）

14：10～15：10 講演2

「データベース管理ソフトウェアArDBーについて（仮題）」  
Michael Sudnik（Elementar UK）（通訳あり）

15：10～16：00 ポスター発表

16：00～16：25 講演3

「食品の産地判別技術の現状と課題（仮題）」  
鈴木 彌生子（農研機構）

16：25～17：05 講演4

「地理的表示制度について（仮題）」  
猪口 隼人（農林水産省・食料産業局知的財産課）

17：05～17：45 講演5

「食品表示法について（仮題）」  
渡邊 悦夫（消費者庁・食品表示企画課）

17：45～17：50 閉会のあいさつ

18：00～20：00 懇親会

**【参加費（含要旨代）】**

本研究懇談会会員 1,000円，非会員 3,000円，学生 無料

**【懇親会費】**

一般 3,000円，学生 無料

なお，当日の午前には，環境分析研究懇談会，レアメタル分析研究懇談会，表示・起源分析技術研究懇談会のジョイント講演会が開催されます。午前中のみ参加費は無料となっております。詳細は，ぶんせき12月号や研究懇談会HP（<http://www.jsac.or.jp/~kigen/>）を参照のこと。

**【申込方法】**

（1）ポスター発表申込及び要旨締切：1月7日（月）

要旨の様式は任意ですが，Microsoft Wordにて作成し，A4一枚以内でお願いいたします。Word形式のファイルをメールに添付して，表題を「表示起源講演会ポスター発表要旨送付」とし，事務局までご送信ください。

（2）参加申込締切：1月18日（金）

研究懇談会HP（<http://www.jsac.or.jp/~kigen/>）内にある第20回講演会申込書（Excelファイル）をダウンロードして必要事項をご記入のうえ，件名に「第20回講演会申込\_お名前」と記載したメールに申込書を添付して，事務局へメールをお送り下さい。

**【申込・問い合わせ先】**

表示・起源分析技術研究懇談会 事務局 社藤 悦子（東京電機大学）

（電話：03-5284-5445，E-mail：[hyoji.kigen@gmail.com](mailto:hyoji.kigen@gmail.com)）